

2	文化国際課	【芸術文化普及事業】 子ども芸術推進事業	○	I-1	I-2	○	○											アウトリーチ事業として、就学前の幼児が所属する施設にアーティストを派遣し、参加体験型の演劇ワークショップを実施。演劇の表現者が、子ども達の豊かな想像力を引き出し、アートに触れる感動や喜びを体感してもらう。令和5年度は「三びきのこぶた」をテーマに、制作や演劇による創造活動などを通じて、様々な表現の仕方や想像力を学んでもらうワークショップ事業を実施。幼稚園6園で6日間の開催(参加者人数:80人)	開催時期の調整。各園が参加したいと思ってもらえる企画の実現。	就学前児童の豊かな発想を伸ばしていくプログラムを提供していく。	子どもたちに、プロの劇団員によるワークショップを通じて、制作や演劇の楽しさ、想像力を感じてもらえるよい機会である。子どもたちの楽しそうな姿を見られたことはもちろん、先生方にも「良い経験となった」との感想をもらえている。	A
19	文化国際課	【芸術文化普及事業】 チャレンジ支援事業・ 芸術鑑賞支援事業	○	I-1	I-2	○	○											小・中学校への支援として実施。チャレンジ支援事業では、各校のクラブ活動団体がコンクールに参加する場合、本番に近い環境を経験することで日常の練習の成果が本番に活かされるようホールの使用を提供。令和5年度利用団体数は2、利用件数は5。芸術鑑賞支援事業では、各校が、所属する生徒等を対象に、プロの芸術団体による公演を開催する場合のホールの使用提供。令和5年度利用団体数は1、利用件数は1。	事業の対象がはっきりしているため、通知文を送付し、周知に努めているが、各校の関係者にどの程度周知されているか不明。	引き続き、小・中学校への支援として継続していく。	本番に近い環境を整え、提供できた。来年度は周知方法を追加・工夫し利用団体参加をより促していきたい。	A
11	文化国際課	【芸術文化普及事業】 アートマルシェ事業	○	I-2	II-6	IV-1	○	○		○	○							市民が文化芸術にふれるきっかけづくりを目的としたワークショップ。8月と3月に開催。8月は子ども向け、3月は大人向けといったように、毎回講座内容を変えて実施。(参加者8月267名、3月153名)	講座によって申込み状況にばらつきがある。パレエティーに富んだ講座の充実。乳児・障害児も参加しやすい講座の設定。	文化芸術に触れるきっかけとする事業で、多様なプログラムの充実を図っていく。マンネリ化を防ぐため新たな分野のワークショップを開拓したい。また、プロの芸術を間近に触れる機会も作りたい。	申込みにLogoフォームを採用し、市内保育所にもポスターを配架する等より多くの方にお申し込みいただけるように工夫をした。今後も広報に力を入れて、新規参加者を増やしていきたい。	A
42	文化国際課	【芸術文化普及事業】 文化事業への市民 参画推進事業	○	I-3	II-5							○						広く市民が事業に参画できる文化事業の実施として、文化祭事業やマドカ合唱祭などがある。また、アウトリーチ事業では実施前・実施後に子どもの所属先関係者と対話を通じて、より丁寧な事業の実施を行っている。	参画の内容を適宜見直し、ブラッシュアップに努める。	今後も事業の内容により、参加者が参画できる事業立案をすることにより、文化事業が活性化、また市民の交流の場となるよう努める。	今後も参加者の意見を取り組みながら、ともに事業実施に取り組んでく。	A
20	文化国際課	【育成団体支援事業】 育成団体支援事業	○	I-4	II-1	IV-1					○							3つの育成団体(合唱・吹奏楽・演劇)の活動を支援し、団体の質の維持及び向上を図るため、指導者への謝礼を支払う。また、定期発表の場を設け、日常の成果を市民に還元するための公演を実施している。	団体が安定的に活動をしていくためには、一定数の団員数が必要。	各団体の活動が、当課の活動をこえて、市内の各所で展開できるように、団体の存在や活動を広く知ってもらう。	団体のレベルを維持していくため、今後も連携を密にしていき、支援を続けていきたい。	A
21	文化国際課	【国際交流事業】 国際交流事業(SSF市)	○	I-5			○				○							姉妹都市である米国サウスサンフランシスコ市(SSF)へ、岸和田市に在住・在学の青少年15名を派遣。現地ではホームステイを通じて、現地学校や各施設で青少年・市民交流を行っている。	両市含め青少年が本市の魅力をいかに伝えるかをテーマに、事業を企画する際の仕組みづくり。	青少年である若い世代の切り口で、現地に派遣する青少年に本市の魅力を伝え広めていく。	コロナにより4年間派遣交流が中止となっていたが、滞りなく事業を行うことができた。コロナ前以上に広く青少年に伝わり、多くの反響があった。	S
22	文化国際課	【国際交流事業】 国際交流事業(永登浦区)		I-5	II-3							○						姉妹都市である韓国ソウル特別市永登浦区より文化視察団の受け入れを行い、本市の市展受賞作品展に永登浦区の文化作品を展示し、合同作品展として開催した。文化活動をしている市民・団体をはじめ、広く市民に多文化交流の機会を創出した。	隔年事業として行っているが、広く市民に周知されているわけではないので、どのように周知してもらうか課題である。	引き続き事業は継続し、広く市民に周知し、異文化理解の助力としたい。	コロナにより4年間派遣交流が中止となっていたが、滞りなく事業を行うことができた。合同作品展も久しぶりに開催したことで、いつもと違う異文化の作品を鑑賞でき、市民にとっても国際交流の機会が非常に多かった。	S
30	文化国際課	【芸術文化普及事業】 市展開催事業		II-1								○						美術に関する分野(洋画・陶芸・書・日本画・写真・俳画)の公募展を行い、毎年11月に受賞作品を集めた展覧会を行っている。令和5年度は、平年通り各部門の作品の公募、審査を行い各賞を決定し、コロナ禍ぶりに作品解説を実施した。受賞作品展は姉妹都市である韓国ソウル特別市永登浦区との合同展覧会を実施した。 市展:総出品点数269点、総来館者数1,998人	以前からの出品者の高齢化に伴い出品数と来館者が減少している。若い世代の出品数が少ない。	若い世代への出品をひろげるべく、募集要領の配布先変更を検討していく。また、市民でさえ市展の存在を知らない人が多いため、その周知に努める。	若く、若い世代の出品を広げ、募集要領の配布先に高校を追加するなど工夫を行った。また、受賞作品展では、招待状を作成するなど集客に努めた。	B
31	文化国際課	【芸術文化普及事業】 文化祭開催事業		II-1								○						自主的に岸和田市民が行う文化活動の成果を発表する機会をつくり、発表者と鑑賞者相互の交流を深めることにより、文化活動に対する意識の高揚と、文化の振興を図ることを目的とする。展示部門:参加申込18団体・出品者数4,166人、舞台部門:参加申込16団体・出演者数1,511人、来場者総数18,017人	参加者が学生と高齢者で2分化されていたが、実行委員会事務局の活躍でダンス部門が定着した。引き続き新たな部門等で中間層の参加を増やす	引き続き、教育委員会と連携して、幼児や小中学生の参加を継続していく。中間層の参加を促すために、後継者の育成が必要。	昭和23年から続いている文化祭は、市民の文化活動の成果を発表する場として定着している。	A

4	文化国際課	【芸術文化普及事業】 マドカ合唱祭開催事業			Ⅱ-1												○	市内各所で活動している合唱の団体に、発表の場を提供するとともに他団体との交流を促進し、合唱活動を盛んにすることを目的として開催している。前年に引き続き、一般の個人も参加できるオープニング合唱と、エンディング合唱は中止したが、それ以外はほぼコロナ以前の運営で開催した。(参加26団体、390名)	事業のPR、観客マナーの向上、出演者の高齢化への対応。7月下旬開催のため、暑さ対策が課題であったが、終了後、次回以降の開催時期に	事業の内容を工夫、充実していく、合唱祭の活性化を図る。	事業の運営に関しては、実行委員会形式をとり、協議しながら内容を決めている。委員、また参加団体の意欲を高めていくため、仕組みづくりの強化が必要。	B
1	文化国際課	【芸術文化普及事業】 自泉会館等活用促進事業			Ⅱ-3	Ⅱ-1											○	市民自らが文化事業の企画制作を行い、能力の向上を図るとともに、自泉会館の活用の推進している。 今年度は、5つの事業を実施した。		今後も継続するとともに、より多くの年代の参加、若手芸術家の育成・支援に努める。	今年度も様々なジャンルの事業を実施し、たくさんの方に楽しんでいただけた。	A
1	文化国際課	【文化団体支援事業】 文化団体支援事業			Ⅱ-4												○	特定のジャンルに限らずに包括的な取り組みをしている岸和田市文化協会、岸和田文化事業協会の活動を支援し、多くの市民が参加できる取り組みを協同して推進している。	各文化団体会員の高齢化が進んでいるため、後継者となる若い世代の育成が必要	各文化団体の特色を生かした活動を今後も継続し、団体の活動内容を広く知ってもらう。	団体活動の一部を支援できた。	A
0	文化国際課	【芸術文化普及事業】 文化の日祝典事業			Ⅳ-2	Ⅱ-3											○	11月3日文化の日に、本市の文化教育の振興に貢献した方々の功績をたたえ、祝典を開催。1部では功績のあった方々への表彰式、2部では関係者以外も鑑賞できる記念コンサート「ファミリーコンサート～ジブリがいっぱい～」を開催。1部出席者数195人、2部入場者数384人。	祝典を広く周知するため、幅広い方々に関心を持ってもらえるような記念事業の企画が必要。	若い方の表彰も増えてきているため、熟年の方との文化交流も活発になればよい。また、「文化の日」にふさわしい事業を企画し実施していくことで、文化・芸術の推進に寄与していく。	2部では、誰もが一度は聞いたことのあるジブリの曲に関する音楽会を実施し、例年以上に多くの市民、特にファミリーに楽しんでいただくことができた。	A
9	全課	情報の収集、発信			Ⅳ-3												○	文化に関する公演・講座・各種イベント・助成等を周知するため、広報活動として市内公共施設でのポスター・チラシの配架、HP・SNSでの告知に努めた。また、特に文化施設3館では、市内外の関連公演等の情報発信に協力している。	多種多様な情報の収集、発信の手法についての検討をする必要がある。	今後も継続するとともに、情報発信と収集の手法については検討が必要。SNS等を活用し、現代のニーズに合った方法を活用する必要がある。	現在、各課が中心となって広報に努めている。また、文化に関する情報を発信する立場からは、どのように情報収集と発信をしていくかを検討課題としていく必要がある。	A
1	文化国際課	【文化振興基金活用事業】 文化振興基金活用事業			Ⅳ-4												○	文化振興基金は、文化施設の修繕やソフト事業の実施に活用されている。現在、岸和田市ふるさと寄附金事業のなかの一つの選択肢として文化振興基金が位置付けられている。ふるさと寄附金事業を案内するチラシがあり、担当課が中心となって広報活動を行っている。(アートマルシェ事業費・アウトリーチ事業費・本市育成団体の指導者謝礼・姉妹友好都市受入派遣事業・姉妹都市締結事業費)	原資の確保と、基金の周知活動。	寄附者の満足度を高めていく活用方法を検討していく。	現在、ふるさと寄附金事業の周知方法はチラシ・専用ポータルサイトがある。また、基金の活用結果も同様に行っている。	A
0	文化国際課	【情報収集発信事業】 情報収集発信事業			Ⅳ-3												○	市HP(文化国際課ページ)において、文化芸術に関する助成の情報を発信。	発信による効果が不明。HPのみならず、他の手法も加えるなど周知の検討が必要。	今後も継続するとともに、情報発信の手法と周知に努めていく。		